

岡山県におけるチャ遺伝資源の収集

佐波哲次・武弓利雄

野菜・茶業試験場・茶栽培部・暖地茶樹育種研究室

Collection of Tea Genetic Resources in Okayama Prefecture

Tetsuji SABA and Toshio TAKYU

Laboratory of Tea Breeding for Warm Region, Department of Tea Agronomy, National Research Institute of Vegetables, Ornamental Plants and Tea, Makurazaki, Kagoshima 898-0032, Japan.

Summary

Okayama prefecture has been a tea production area since early times. But few tea genetic resources from Okayama prefecture have been preserved in our institute. Accordingly, we investigated and collected tea seeds from 6 areas in Okayama from Oct. 5 to 6, 1998.

The collecting areas of Nishiawakura-Mura (1) and Okutsu-Cho (4,5) are covered with snow in the mid-winter. Average temperature of Kuze-Cho (3) is about 2°C in Jan. and Feb. We presume tea plants having cold tolerance in these areas (1, 3, 4, 5).

The collecting areas of Sakutou-Cho (2) and Mimasaka-Cho(6) has old abandoned tea gardens and many useful tea genetic resources has lost gradually in these areas.

The number of collected tea seeds are 1, 418. They were sowed 50–100 seeds of each collected area in green house.

KEYWORDS : Tea, Okayama prefecture

1. 目的

岡山県は茶祖とされている栄西禅師の出生地でもあり、古来より茶とは関係の深い地域である。また、日本茶業史¹⁾によると、鎌倉時代には真木山長福寺（英田郡英田町）や本山寺（久米郡吉岡村（現棚原町））の境内に茶園が存在したこと、江戸時代の終わりに宇治および長崎に人を派遣し、煎茶の製造法ならびに販路について調査研究したこと、宇治から茶師を招き、海田・海内・山外野（以上美作町）田淵（作東町）で煎茶製造の伝習をするなど茶業振興に努めたことなどが記されている。このように古くから熱心に茶業に取り組んできている地域にもかかわらず、岡山県内で収集され、当

研究室が保存しているチャは2個体のみで、他の茶産地の府県と比べると非常に少ない。また、ジーンバンク全体でも岡山で収集保存されているチャは5個体だけで、非常に少ない。そこで1998年度のジーンバンク国内探索で、岡山県山間地帯の遺伝資源の収集を行った。

2. 経過

周辺に品種茶園がなく、できる限り古いチャの残っている場所の茶園において、岡山県農業試験場北部支場の協力のもとに1998年10月5～6日に種子の収集および調査を行った。また、一部の地点では事前に収集した種子の分譲を受けた。後樂園(岡山市)の材料は北部支場の紹介により、チャ種子を譲り受けることができた。なお、収集地点はFig.1に示した。

3. 調査収集方法

各地点で十分に熟しているチャ果実を採取した。その際にチャ樹の特徴や周辺の状況を調査した。また、近辺の農家の方に状況や歴史的経緯などについても聞き取り調査を行った。

4. 収集結果

収集月日、採種数をTable 1に示した。

①英田郡西粟倉村大茅(おおがや)

標高約450mの岡山県でも最も気候の厳しい地域である。すぐ近くには大茅スキー場があり、積雪も1m程度になるということであった。地元の話ではこの地域の茶は苦味が強いとのことであった。

チャは水田の畦畔に散在しており、株は小さくほふく型を示し、成葉は小さいものが多かった。

②英田郡作東町国貞(くにさだ)

標高が約200mの地点である。チャ株はヒノキ林の下に等高線うねで存在していた。このことから以前は栽培されていたと考えられるが、ヒノキが相当大きいことから、かなり昔に茶栽培を放棄し、ヒノキを植林したものと推測された。成葉の形質は大きさや形、光沢などから判断すると比較的良好なものが多かった。

③真庭郡久世町山生(さんしょう)

標高が約300mの地点である。久世町の厳寒期の平均気温は2℃前後であるが(岡山気象月報)、採種地点の気候はさらに厳しいと推察される。急斜面にある茶畑であった。一番茶期には地区総出でチャを摘採するとのことであった。チャ株は小さく成葉の形質は変異の幅が大きかった。

④苫田郡奥津町羽出(はで)

標高が約350mの地点である。奥津町は厳寒期には根雪になるとのことであった。チャ株は畑の端の道路よりに数本存在しており、成葉はやや小型で厚かった。この地点は岡山県農試北部支場の方が事前に採種したものをいただいた。

⑤苫田郡奥津町川西(かわにし)

標高が約350mの地点である。チャは竹林の周辺に散在していた。チャ株は小さくほふく型を示し

ていた。成葉の大きさは中から小型であった。

⑥英田郡美作町海田（かいだ）

標高が約150mの地点である。海田は岡山県では古くからの代表的な茶産地として知られている。チャは多く存在したが、笹やつる性雑草に覆われており、放棄された茶園と推察された。谷の向こう側には管理の行き届いた品種茶園があることから、このように地形的に厳しい場所では茶畑は放棄されていくが、機械化が可能な場所では現在でも熱心に茶栽培に取り組んでいる様子がうかがえた。成葉の大きさは小型であった。

⑦岡山市後楽園

後楽園は約300年前に備前藩主により作られたが、当初から園内には茶畑が設けられていたとされている。従って樹齢300年程度のチャから採種されたものと考えられる。

5. 収集材料の今後の処置

後楽園の種子および岡山県農試北部支場の方に事前に収集していただいた種子は、密閉できるビニール袋に入れ、冷蔵庫で約2ヶ月保存した後に、種皮を取り除き、湿したろ紙上に播種した。これを25℃の恒温器に入れて催芽処理を行った。発根の認められた種子はガラス室内のポットに播種した。

我々が現地では採取した種子は、果皮を除去した後に密閉できるビニール袋に入れ、冷蔵庫で約2ヶ月保存した後に、ガラス室内のポットに直接播種した。

1年間ガラス室内で養成した後圃場に定植し、特性評価を行う予定である。

6. 所感

岡山県は山陽地方にあるので、温暖なイメージがあったが、チャ種子を採取した場所は山間地で気候が厳しい地域であった。積雪が1m程度に達する①の西粟倉村において、チャ株が数多く存在したことは、過去の一時期には積極的に利用したものと考えられた。採種対象としたチャ株はほとんど放任状態であったが、今日まで生存していたことから、積雪に対する耐性は相当強い可能性が示唆された。③、④、⑤の地点も厳寒期にはかなり低温になることが予想されるので、低温耐性の高いチャが多いものと推察された。

②（作東町）や⑥（美作町）の収集地は以前は茶園であったが、現在は耕作放棄されているところである。この2カ所の来歴は不明であるが、耕作放棄により茶園が荒廃し、貴重なチャ遺伝資源が徐々に失われて行く様子がうかがえた。

7. 謝辞

ご多忙中にもかかわらず、岡山県農業試験場北部支場の岡田支場長、永年畑作部の磯田部長、小西専門研究員をはじめ、北部支場職員の皆様には、収集場所の選定、事前調査、我々の採種・状況調査の同行・案内など多大なご協力のご指導をいただきました。また、後楽園からはチャ種子を提供していただきました。厚くお礼申し上げます。

8. 引用文献

1) 茶業組合中央会議所編 日本茶業史 (1934) 第十九 岡山縣茶業組合. 1098—1099

Table1 A collection list of tea seeds in Okayama prefecture

岡山県で収集したチャ種子一覧表

収集番号	作物名	属 種 名	収集月日	収集場所	採種数	播種数
98-1	チャ	<i>Camellia sinensis</i>	10.6	東粟倉村大茅	168	50
98-2	〃	〃	10.6	作東町国貞	158 (68)	100
98-3	〃	〃	10.7	久世町山生	247 (199)	50
98-4	〃	〃	10.7	奥津町川西	118	50
98-5	〃	〃		奥津町羽出	102 (102)	50
98-6	〃	〃	10.7	美作町海田	224 (204)	50
98-7	〃	〃		岡山市後楽園	401 (401)	50
合計					1418	400

() 内の数字は岡山県農試あるいは後楽園の方に採種していただいた種子数



Fig.1 The sites for collecting the tea seeds in Okayama Prefecture
岡山県でのチャ種子収集地点

岡山県におけるチャ遺伝資源の収集



久世町におけるチャ種子の収集



西栗倉村におけるチャ種子の収集

東北地方におけるアブラナ科在来種の調査・収集



岩手県久慈市端神集落のルタバガ在来種。北東北地方の北上山系一帯では在来種が食用として利用されている。



岩手県岩泉町安家集落のダイコン（右）とカブ（左）の在来種。形や色に変異がみられる。

北海道、東北および中部山岳地帯におけるアカクローバおよびシャジクソウの収集



長野県美ヶ原高原で自生するシャジクソウ
(*Trifolium lupinaster* L.)



長野県浅間高峰高原で自生するシャジクソウ
(*Trifolium lupinaster* L.)